

平成 23 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 24 年 1 月から 2 月末の期間に実施した平成 23 年度理学専攻修了予定者に対して行った大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。アンケート対象者は、総合人間科学研究科理学専攻修了生 76 名であったが、そのうち 62 名からの回答が得られた。回収率は 81.6%であった。

I. 分析

修了生にとって、「研究室での研究やゼミ」(74%)で、「先生との出会い」(71%)、「友人との出会い」(65%)など、大学院で得られる人間関係により多く満足している状況は、例年通りである。しかし、大学院での教育活動の集大成である「修士論文」に対する満足度も 60%と高く、授業に対する満足度も改善されてきている。これらは、昨年度大幅に改善した項目で、今回もほぼその状態を維持している。この 2 項目の過去 4 年間の推移は下記の通りである。平成 20 年度、21 年度、22 年度、23 年度の順に、「修士論文」は、48→44→61→60%、「授業」については 19→17→39→37%、と推移している。

また、「研究室での研究やゼミ」、「先生との出会い」も 70%以上の数値を維持している。これらの数値から、理学専攻における教育活動はおおむね良好に推移している判断できる。ただし、授業については、なお改善の余地があろう。

大学の就職支援に対する満足度は、「満足できた」、「ほぼ満足できた」をあわせて 54.8%であり、昨年の数値 62.5%から若干低下している。

教育研究施設に関しては 95.1%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と答えている。

II. 集計結果

1. あなたの所属する講座を下記より選んでください。

A. 数学 B. 物理科学 C. 生物科学 D. 地球科学 E. 情報科学 F. 応用化学
G. 海洋生命・分子工学 H. 災害科学 I. 植物分類・地理学 J. 海底資源科学

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	9	10	13	8	5	14	10	5	1	1	76
回収件数	8	5	11	5	4	14	10	3	1	1	62
回収率(%)	89	50	85	63	80	100	100	60	100	100	82

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生との出会い E. 友人との出会い F. 課外活動 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数学（数理科学）	7	4	6	6	5	1	0
物理科学（物質基礎科学）	4	3	5	4	3	1	1
生物科学	6	6	7	6	6	2	0

地球科学 (地球史環境科学)	3	0	3	5	5	0	0
情報科学	1	1	4	3	1	0	0
応用化学 (物質変換科学)	6	4	10	11	10	6	1
海洋生命・分子工学 (生体機能物質工学)	7	4	9	7	7	3	0
災害科学 (防災科学)	2	1	1	0	1	0	0
植物分類・地理学(生物)	1	0	1	1	1	0	0
海底資源科学(地球)	0	0	0	1	1	0	0
計	37	23	46	44	40	13	2
回答者数に対する割合 (%)	59.7	37.1	74.2	71.0	64.5	21.0	3.2

応用化学(物質変換科学)

- ・ 時間

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生とのトラブル E. 友人とのトラブル F. 課外活動 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数学 (数理科学)	0	1	1	0	1	1	2
物理科学 (物質基礎科学)	0	0	0	0	0	0	0
生物科学	2	0	1	1	0	1	3
地球科学 (地球史環境科学)	0	0	0	0	0	1	0
情報科学	0	0	0	0	0	0	0
応用化学 (物質変換科学)	4	3	3	0	0	0	0
海洋生命・分子工学 (生体機能物質工学)	1	0	0	0	0	2	4
災害科学 (防災科学)	2	1	0	0	0	0	0
植物分類・地理学(生物)	0	0	0	0	0	0	0
海底資源科学(地球)	1	0	0	0	0	0	0
計	10	5	5	1	1	5	9
回答者数に対する割合 (%)	16.1	8.1	8.1	1.6	1.6	8.1	14.5

海洋生命・分子工学(生体機能物質科学)

- ・ 課外活動に充てる時間が無かった.
- ・ 事務処理

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか.

- A. 満足できた B. 満足できる授業が多かった
C. 満足できる授業が少なかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	6	2	0	0
物理科学（物質基礎科学）	2	3	0	0
生物科学	8	2	0	1
地球科学（地球史環境科学）	3	2	0	1
情報科学	1	3	0	0
応用化学（物質変換科学）	3	9	2	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	3	6	1	0
災害科学（防災科学）	2	1	0	0
植物分類・地理学(生物)	0	1	0	0
海底資源科学(地球)	0	1	0	0
計	28	30	3	2
回答者数に対する割合（%）	45.2	48.4	4.8	3.2

海洋生命・分子工学(生体機能物質工学)

- ・ 就職活動で授業に参加できない時がありました。
- ・ 講義も大事だけど、研究や実験はもっと大事だと考えている。大学院講義は、集中形式で行うのが妥当だと思う。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	6	0	2	0
物理科学（物質基礎科学）	1	4	0	0
生物科学	7	3	1	0
地球科学（地球史環境科学）	3	2	0	0
情報科学	3	1	0	0
応用化学（物質変換科学）	6	8	0	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	5	5	0	0
災害科学（防災科学）	0	3	0	0
植物分類・地理学(生物)	1	0	0	0
海底資源科学(地球)	1	0	0	0
計	33	26	3	0
回答者数に対する割合（%）	53.2	41.9	4.8	0.0

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	3	1	2	1
物理科学（物質基礎科学）	1	2	2	0
生物科学	3	3	4	0
地球科学（地球史環境科学）	0	1	4	0
情報科学	0	2	2	0
応用化学（物質変換科学）	4	5	2	2
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	5	2	2	0
災害科学（防災科学）	0	1	0	2
植物分類・地理学(生物)	1	0	0	0
海底資源科学(地球)	0	0	1	0
計	17	17	19	5
回答者数に対する割合（%）	27.4	27.4	30.6	8.1

応用化学(物質変換科学)

- ・ 利用していません.
- ・ 就活していない.
- ・ 就職室の方の対応があまり良くなく、非常に利用しづらかった.

海洋生命・分子工学(生体機能物質工学)

- ・ 利用してないのでわからず.
- ・ 個人的にエントリーシートの添削も行って頂き、とても感謝しております。ありがとうございました.

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか.

A. ある B. ない

	A	B
数学（数理科学）	0	8
物理科学（物質基礎科学）	0	5
生物科学	1	10
地球科学（地球史環境科学）	0	5
情報科学	1	3
応用化学（物質変換科学）	0	14
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	2	8
災害科学（防災科学）	0	3
植物分類・地理学(生物)	1	0
海底資源科学(地球)	0	1
計	5	57
回答者数に対する割合（%）	8.1	91.9

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	0	0	0	0
物理科学（物質基礎科学）	0	0	0	0
生物科学	1	0	0	0
地球科学（地球史環境科学）	0	1	0	0
情報科学	1	0	0	0
応用化学（物質変換科学）	0	0	0	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	2	0	0	0
災害科学（防災科学）	0	0	0	0
植物分類・地理学(生物)	1	0	0	0
海底資源科学(地球)	0	0	0	0
計	5	1	0	0
回答者数に対する割合 (%)	83.3	16.7	0.0	0.0

海洋生命・分子工学(生体機能物質工学)

- ・ 部活動を通じてボランティア活動に参加しました。その活動の中には、大学の運営に関わるものもあります。日頃から器具や場所を整備しておくことが大切なので、必要な予算はしっかりと組んでいただきたいです。

9. 理学研究科の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

物理科学(物質基礎科学)

- ・ 平日の日中にエレベーターの点検を行っていましたが、授業や研究で多く人がいる時間は避けた方が良くないかと思いました。また、あらかじめ連絡等があると助かります。

生物科学

- ・ 農学部にあるような図書を本館にももっと置いてほしい。
- ・ 図書を充実して欲しい。

地球科学(地球史環境科学)

- ・ 大学の事務員の態度があまり善くないので改善して欲しい。
- ・ 仮眠室とシャワー室が欲しい。

応用化学(物質変換科学)

- ・ Web で読める雑誌(論文)がもう少し多ければ良いと思うことがあった。
- ・ 理学部の事務の方々がいつも丁寧にかつ親切に対応して下さったので、とてもありがたかったです。ありがとうございました。

応用化学分野としてみると、とてもユニークな研究をされている先生が多いと感じています。また、若い先生方が次々と入ってこられたので、これからの教育・研究活動に期待したいと思います。ま

た。私は学会によく参加(発表)をさせていただいたのですが、地方大学とはいえ、他の大学、ひいては世界にもひけをとらない様なユニークかつ高いレベルでの研究ができた

ことを嬉しく感じています。応用化学から高知大学を盛り上げる。そういった研究や教育活動をこれからも続けていって欲しいです。楽しく、充実した 2 年間でした。ありがとうございました。

- ・ I spent a very good time at Kochi university. Everyone at this school is very nice. The teachers are awesome at 理学部. I got everything I want this two years.

海洋生命・分子工学(生体機能物質工学)

- ・ 大変お世話になりました。
- ・ ○○先生には無理せず、これからも頑張っていたきたいと思います。
- ・ 担当教員の執務室と研究室が離れていると、連絡やコミュニケーションがとりにくいと感ずます。執務室と研究室ができるだけ近くなるようにお願いします。